

家庭、技術・家庭

令和8年度 授業改善のポイント

- 生活を振り返り、実生活と関連を図った問題解決的な学習を取り入れることにより、児童生徒の実践意欲を高める学習活動を工夫する。
- 家庭、技術・家庭の特質に応じて、児童生徒が考えたり、表現したりする場面を、一連の学習活動の中に設定する。

題材を通して課題解決を図り、実践意欲を高める指導

【指導事例】「上手に使おう 物やお金」(小学校第5学年)

<題材の目標>

- ・買物の仕組みや消費者の役割が分かり、物や金銭の大切さと計画的な使い方について理解するとともに、購入するために必要な情報の収集・整理が適切にできるようにする。
- ・身近な物の選び方、買い方について問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、課題を解決する力を養う。
- ・物や金銭の使い方と買物について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり振り返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとする態度を養う。

題材計画 [全4時間] C 消費生活・環境 (1) ア(ア)(イ)、イ

<1次>
物や金銭の
使い方と買物
について問題
を見だし、
課題を設定す
ることができ
る。

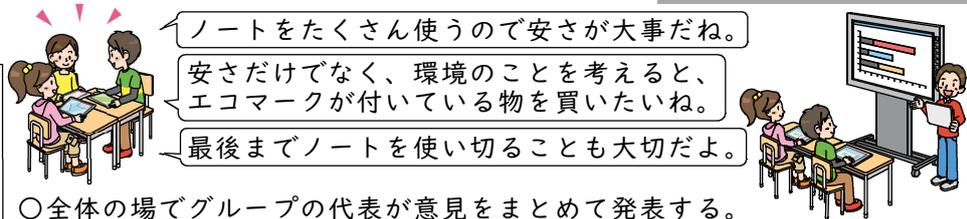
ポイント1 題材のはじめに自分の生活を振り返り、物や金銭の使い方と買物についての問題点に気付かせてから課題を設定します。その上で題材を通して自らの課題を解決し、生活の実践につなげるようにします。

<3次>

- 今までの学習を振り返り、問題点を確かめる。
- 数種類のノートを用意し、実際に自分がノートを買うことを想定できるようにする。
- ノートを購入するときの観点とその理由を各自で考え、グループで共有する。

ポイント2 実物や多様な情報を活用し、生活につなげて考え、実践を意識した話合いにすることが大切です。

<2次>
売買契約の
仕組みを理解
することができ
る。



- 全体の場でグループの代表が意見をまとめて発表する。

重要 全体に向けた発表の前に、新しい発見や自分のグループとの違いなど、聞く側の視点を示して気付きを引き出すことが大切です。

ICT タブレット端末のデジタルノートなどに考えを書いて、共同編集したり、あらかじめ作成したシートにグループの代表がまとめて電子黒板に映し出し発表したりする方法も有効です。

<3次>
物や金銭の
計画的な使い
方を考えたり
工夫したりす
ることができ
る。

- 発表を聞いて新たに気付いたことや考えが深まったことについて、意見を出し合う。

Aさんは広告を見て、安いときに買うようにしていて、なるほどと思いました。

環境にやさしい材料(再生紙)を使ったノートがあることも分かりました。

- 友達の見解から気付いたことを基にしてまとめ、自分の買物にどう生かすかシートに書く。

まとめ 値段、分量、品質、購入の時期や場所、環境、ノートを最後まで使い切るなどの観点をもって買物をする。

重要 児童生徒から出た意見や気付きを大切に、まとめに取り入れるようにします。

<4次>
これまでの
学習を振り返
り、自分と物
とのよりよい
関わり方を考
え、実践しよ
うとする。

それでは、まとめを生かして自分の買い方をシートに記入しよう。

<学んだことを生かした振り返り(例)>
値段のほかに紙質や環境について考えて買う。無駄をなくして使い切るようにする。